

看護と環境	4年・後期	1単位 15時間	教授 堀金幸栄
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121074

1. 授業のねらい・概要

本科目は、学生が人間は環境の影響をどのように受けるのかを理解し、看護の対象となる人々が健康に過ごせるようどのように環境を整えていくかを考察する。内的・外的環境要因にどのようなものがあるのかを学び、人間らしく過ごせる諸条件について考える。

2. 学修の到達目標

1. どのような環境問題があるか理解できる。(D-2)
2. 環境とは何か、環境から受ける身体的影響および精神的影響を理解できる。(D-2)
3. 人間の健康と病気について、環境との関連を理解できる。(D-2)
4. 看護の対象となる人々の環境をどのように整えるかを考えることができる。(D-2)
5. 環境に適応して生きるということについて考えることができる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義と演習を中心に授業を進める。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	現代の社会・自然現象の中にある環境問題	講義	予習：現代の社会・自然現象の変化としてどのような環境問題があるか調べる。 復習：環境問題についてまとめる。	堀金幸栄
2	環境から受ける身体的・精神的影響	講義	予習：環境から受ける身体的・精神的影響としてどのようなものがあるか調べる。 復習：環境要因が人間に与える影響をまとめる。	堀金
3	環境が人間に与える健康と病気①～フローレンス・ナイチンゲールが注目した環境～	講義 演習	予習：フローレンス・ナイチンゲールが注目した環境とは何かを調べる。 復習：環境が傷病兵に与えたものについてまとめる。	堀金
4	環境が人間に与える健康と病気②～ストレスと環境～	講義 演習	予習：人間に与えるストレスについて調べる。 復習：ストレスとなる環境についてまとめる。	堀金
5	事例検討①（グループワーク）	演習	予習：事例①の置かれている環境について問題をあげ、改善方法を考える。 復習：グループワークであがった意見をまとめる。	堀金
6	環境調整の提案（グループ発表）	演習	予習：発表の準備をする。 復習：環境調整についてレポートにまとめる。	堀金
7	事例検討②（グループワーク）	演習	予習：事例②の置かれている環境について問題をあげ、改善方法を考える。 復習：グループワークであがった意見をまとめる。	堀金
8	環境に適応して生きるということについて（グループ発表）	演習	予習：発表の準備をする。 復習：環境に適応して生きるということについてレポートにまとめる。	堀金

5. 成績評価の方法・基準

グループワークの発表 40%，レポート 60%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

参考資料を講義で紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

1 時間以上事前課題に取り組んで授業に参加すること。授業内容について 1 時間以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

新聞やニュースなどで報道される環境問題について理解を深めること。また看護師としてどのように対象者の環境に配慮していけばよいか考えること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

グループ課題に対するフィードバックは発表時にコメントする。

提出された個人課題レポートはコメントを書いて返却する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目であり，修得出来ない場合には直接進級不可とはならないが，必修単位と選択単位を合計して卒業要件単位数を満たさなければならない。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師・助産師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。